

# 「廃棄物資源循環学会論文誌」投稿要領

編集委員会

平成22年11月 6日 改正

平成23年 7月27日 改正

平成24年 5月17日 改正

## 1. 総則

- 1.1. 「廃棄物資源循環学会論文誌」（以下論文誌と呼ぶ）への投稿は本要領による。
- 1.2. 投稿者（少なくとも1名）は本会員に限る。ただし編集委員会が承認又は依頼した者はこの限りではない。
- 1.3. 連名で投稿する場合は、連名著者のうち、本会員の中から、投稿責任者を一人定めることとする。投稿責任者は、論文の査読等に関わる連絡担当者となるほか、著作権の譲渡をはじめ投稿手続きに関して、全著者を代表して責任を負う。
- 1.4. 投稿論文は一般に公表されている本会以外の刊行物に未投稿のものに限る。また、原稿は和文とし、英文原稿は英文誌“Journal of Material Cycles and Waste Management”への投稿として扱う。ただし、編集委員会が承認したものはこの限りではない。
- 1.5. 投稿原稿の採否は、査読の結果をもとに編集委員会が決定する。編集委員会は原稿について修正を求めることがある。修正を求められた原稿は2ヶ月以内に再投稿することとし、2ヶ月を過ぎれば新規投稿として取扱う。
- 1.6. 論文誌に掲載された記事についての責任は著者が負うものとする。
- 1.7. 論文誌に掲載された展望論文、論文、研究ノートなどの著作権については、本学会知的財産権規程に定める。
- 1.8. 展望論文、論文、研究ノートは原則としてその一編で完結したのものに限る。
- 1.9. 原稿の作成にあたっては本会が定めた執筆要領に従う。

## 2. 記事の種類

論文誌に掲載する記事の種類は以下の通りとする。また、標準ならびに最大の刷り上がり頁数は別表に示す通りとする。

### 2.1. 展望論文

展望論文は廃棄物に関する特定の分野について、その研究に関する既存の研究を幅広く体系的に論じることにより、新たな研究上の知見を得たり、研究の方向性について明示したりしうるものとする。

### 2.2. 論文

論文は廃棄物に関連した諸分野における会員の独創的な研究、開発で、新しい事実等を含み、学術的、社会的発展に寄与するものとする。ただし、新しい事実等とは新事実の他、新理論、新技術、新手法などを含み、従来の結果の拡張、体系化などを含むものとする。

### 2.3. 研究ノート

研究ノートは論文で示した内容に近い研究成果を速やかに報告することを目的とする。そのため新データの提示の他、理論、技術、手法などの示唆を示す内容を条件とする。

### 2.4. 討議

論文誌に掲載された論文に関する意見、反論。なお、討議の執筆にあたっては、他の記事と同様、執筆要項に沿った書式で執筆する。

### 2.5. エラータ

論文誌に掲載された記事に対する訂正。訂正理由が著者に由来する場合は著者署名記事とし、編集工程上の問題に由来する場合は委員長署名記事とする。

## 3. 原稿の提出

3.1. 原稿の送付票は本会規定のものを用い、所定の事項を記入する。

3.2. 原稿の提出は、電子投稿システムを通じて行う。インターネット環境を使用できない環境にある投稿者を除いては、紙ベースの原稿は原則受け付けない。

3.3. 不備のない原稿が電子投稿システムによって本会編集事務局に到着し、受け付けられた日をもって受付日とする。修正を求められた原稿が指定期間内に修正されない場合には、最初の受付日は無効となる。

3.4. 掲載が決定した展望論文、論文、研究ノートは初校のみ著者に送付する。速やかに校正し指定期日までに返送するものとする。なお、校正時における文章や図表の追加、変更は認めない。

## 4. 掲載料ならびに別刷料

論文誌への掲載料（別刷 50 部を含む）は別表の通りとする。追加の別刷を希望する場合は 50 部単位で著者校正時に申込むものとする。

## 5. 投稿原稿の受付

投稿原稿は、電子投稿システムを通じて提出する。投稿時に必要な原稿は、原稿送付票ファイル、原稿ファイル（和文要旨、本文、英文要旨、図表タイトル一覧、図表、電子付録を含む）である。印刷用の図表などについては掲載が決定した後、事務局から要求する。

電子投稿システムのアドレス

<https://www.editorialmanager.com/jjsmcwm/>

連絡先

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町 67-4

廃棄物資源循環学会編集委員会

TEL (075) 752-2554

FAX (075) 752-7994

E-mail ronbunshi@jsmcwm.or.jp（電子査読投稿システム問い合わせ専用）

## 6. 廃棄物資源循環学会論文誌標準頁数および掲載料

原稿種類	刷り上がり頁数	掲載料 (別刷 50 部を含む)
展望論文・論文 (標準 10 頁以内)	6 頁以内	44,000 円
	7 頁	48,500 円
	8 頁	52,000 円
	9 頁	56,500 円
	10 頁	60,000 円
	11 頁	78,000 円
	12 頁	96,000 円
	13 頁	114,000 円
	14 頁	132,000 円
	15 頁	150,500 円
研究ノート (標準 5 頁以内)	4 頁以内	36,000 円
	5 頁	40,000 円
	6 頁	60,000 円
	7 頁	64,000 円
	8 頁	68,000 円
	9 頁	72,000 円
	10 頁	76,000 円

\*1 別刷追加 50 部は上記の 50%引きとする

\*2 エラータ (記事訂正) の掲載料は以下の通りとする

- 1) エラータが、委員長署名記事である場合は、掲載料は無料とする。
- 2) エラータが、著者署名記事である場合は、頁数に応じ以下の通りとする。
  - ・エラータが 5 頁以内の場合は、研究ノート・討議の掲載料を適用する。
  - ・エラータが 6 頁以上の場合は、展望論文・論文の掲載料を適用する。
  - ・エラータの別刷り 50 部を不要とする場合は、料金を半額とする。